



大垣市政・経済記者クラブ同時配布資料
岐阜県政記者クラブ加盟社各位

令和8年6月9日(火) 岐阜県発表資料			
所属	担当係	担当者	電話番号
岐阜関ヶ原古戦場記念館	企画課学芸係	山形	直通 0584-47-6070 FAX 0584-43-0420

夏季企画展「合戦図屏風—語り描く武勇伝—」を開催

岐阜関ヶ原古戦場記念館(以下「記念館」という。)では、夏休みに親子連れで楽しめる企画として、夏季企画展「合戦図屏風—語り描く武勇伝—」を開催します。

この展示では、豊臣秀吉と徳川家康の初めての直接対決である小牧・長久手の戦いから、豊臣政権が行った朝鮮出兵、関ヶ原合戦、大坂の陣までの一連の流れについて、新しく収蔵した「関ヶ原合戦図屏風」などの戦国合戦図屏風を中心に視覚的に分かりやすく紹介します。併せて、屏風の制作方法、使用されている染料の素材などについても紹介します。

記

1 夏季企画展「合戦図屏風—語り描く武勇伝—」

- 展示期間 令和8年7月14日(火)～9月6日(日) ※ 記念館の休館日は除く
- 会場 記念館2階展示室(不破郡関ヶ原町関ヶ原894-55)
- 主な展示物
 - ・蔚山城合戦図屏風(九州国立博物館蔵)
 - ・小牧長久手合戦図屏風(岡崎市蔵)
 - ・関ヶ原合戦図屏風(当館蔵)【新出資料】

2 講演会「小牧長久手合戦図屏風に描かれたもの」(関ヶ原研究会情報発信事業)

- 日時 令和8年8月8日(土)13時30分～15時(開場13時)
- 会場 記念館3階セミナールーム
- 講師 岩崎城歴史記念館副館長 内貴 健太 氏
- 内容 長久手合戦は、局地戦とはいえ、徳川家康にとって羽柴秀吉に勝利した記念すべき一戦であり、のちに重要な合戦として顕彰されました。
この講座では、小牧長久手合戦に関する合戦図屏風の構図や複数現存する諸本の差異に注目しながら、鑑賞のポイントなどを解説します。
- 定員 100名(事前申込・先着順)
- 参加費 無料 ※別途入館料が必要
- 申込方法 記念館公式HPの専用ページから申し込み
<https://sekigahara.pref.gifu.lg.jp/news/p8417/>

3 報道機関向け内覧会

内覧会を令和8年7月13日(月)に開催します。

出席いただける方は、別添資料をご確認のうえ、令和8年7月10日(金)までにお申込みください。

【講師紹介】

岩崎城歴史記念館副館長 内貴 健太

<経歴>

1992年滋賀県生まれ。愛知大学卒業。

2018年より岩崎城歴史記念館学芸員として勤務。

専門・研究分野は小牧・長久手の戦いの伝承など。

小牧・長久手の戦いに関する多数の講演、連載記事の執筆、番組出演や監修、資料提供を行う。

東郷町文化財保護委員。中日文化センター講師。日本城郭検定1級

<主な著作>

『家康VS秀吉 小牧・長久手の戦いの城跡を歩く』（風媒社）

『戦国武将 丹羽氏次・氏重 激動の時代を生きた兄弟の物語』（風媒社）



【入館料・開館時間等】

- ・入館料：一般500円(400円)、大学生・高校生300円(240円)、中学生以下無料
※（ ）内は20名以上の団体料金です。
- ・開館時間：9：30～17：00（入館は16：30まで）
- ・休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)
※8月10日(月)～8月16日(日)は全日開館。

【関ヶ原研究会の概要】

- 目的 関ヶ原に関連する研究状況の発信、若手研究者の支援等を通じて関ヶ原研究を促進し、調査研究フィールドや観光地としての関ヶ原古戦場の魅力や関心を高める
- 設立日 令和5年10月14日
- 会長 小和田哲男 岐阜関ヶ原古戦場記念館館長
- 会員 関ヶ原に関連する研究実績のある者(大学教授、歴史研究家、博物館学芸員等)
- 内容 関ヶ原研究の活性化に向けた各種取組みを実施
 - ①関ヶ原関連研究に関する情報発信
関ヶ原関連の最新研究状況・成果等を広く発信する講演会、討論会の実施
 - ②若手研究者の育成支援
関ヶ原研究若手研究者支援事業や若手研究者への研究発表機会の提供等の実施
 - ③学芸員ネットワークの形成
関ヶ原の戦いに関連する博物館等の学芸員における研究状況や展示、収蔵品等に関する情報交換の実施
 - ④関ヶ原研究への興味・関心の向上に向けた活動